



# きじむんのとろ〜ちゅいむにい〜 古文書入門編

## 第10回 琉大附属図書館のお宝

キーワード：屋嘉比朝寄、比嘉華山、E.R.ブール、原忠順

いーそーぐわちでーびる！今年もよろしくお願ひします。さて、今回は琉大図書館の所蔵するお宝資料を紹介するよ〜。なんと琉大図書館には県指定の文化財がふたつもあるんですよ。

### くんくんしー やかびちようき 『工工四 原本 屋嘉比朝寄』

伊波普猷文庫 44,p.10  
沖縄県指定有形文化財



まずひとつは屋嘉比朝寄の編纂した琉球古典音楽の楽譜、『工工四 原本 屋嘉比朝寄』です。屋嘉比はそれまで口承で伝えられていた琉球音楽の記譜法を本書ではじめて編み出し、琉球古典音楽が集成・継承される道を開きました。もうひとつは室町中期ごろの『伊勢物語』の古写本で、浦添家から見つかったため、『浦添家本伊勢物語』と呼ばれています。沖縄に伝来した経緯は不明ですが、沖縄における日本文学を受容を知る上で貴重な資料といえます。

### うらそえけぼん いせものがたり 『浦添家本伊勢物語』

島袋源七文庫 028,p.6  
沖縄県指定有形文化財



### ブール Bull文庫ガラス乾板写真



文書資料のほかに、絵図や写真にも当館にしかないものがいくつもあります。『琉球風俗絵図』は、土族の妻子や糸満の漁業民などを画題に、琉球王国末期から明治中期頃までの沖縄の風俗を鮮やかに描いており貴重です。比嘉華山の作といわれていますが正確なところは定かではありません。写真では例えば、E.R.ブールという宣教師が1911～1926年に撮影した写真があります。かつての首里城や人々の生活の様子がおさめられていて、興味深いですよ（あ、色はあとからつけたんですよ〜）。

### 『琉球風俗絵図』



### 『原忠順日記 1879(明治12)年』



現在、沖縄資料室でデジタル公開の準備を進めているのは、原忠順という人の資料です。原忠順は1872年、成立まもない沖縄県に少書記官として着任し、初代鍋島県令の右腕として県政運営にあたりました。当時の原の日記や行政文書もあり、初期県政期を知る第一級の資料群といえます。お楽しみに〜！

何をお宝かとするかは人それぞれ違うもの。みんなも自分なりのお宝を見つけてくれたら嬉しいな。インターネットで公開している資料もたくさんあるから、ぜひ見てね〜 (CY)